

安全データシート

【1.製品及び会社情報】

製 品 名 : NOKIF
会 社 名 : 株式会社カルモア
住 所 : 〒104-0033 東京都中央区新川 2-9-5
担 当 部 門 : プロサービスチーム
電 話 番 号 : 03-5540-5851
FAX 番 号 : 03-5540-5852
発 行 日 : 平成 28 年 5 月 19 日
改 定 日 : 平成 28 年 10 月 13 日

【2.危険有害性の要約】

危険有害性及び影響

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	[分類できない]
可燃性/引火性ガス	[分類対象外]
可燃性/引火性エアゾール	[分類対象外]
支燃性/酸化性ガス	[分類対象外]
高圧ガス	[分類対象外]
引火性液体	[分類できない]
可燃性固体	[分類対象外]
自己反応性化学品	[分類できない]
自然発火性液体	[分類できない]
自然発火性固体	[分類対象外]
自己発熱性化学品	[分類できない]
水反応可燃性化学品	[分類できない]
酸化性液体	[分類できない]
酸化性固体	[分類対象外]
有機過酸化物	[分類できない]
金属腐食性物質	[分類できない]

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	[区分 4]
急性毒性(経皮)	[分類できない]
急性毒性(吸入:気体)	[分類対象外]
急性毒性(吸入:蒸気)	[分類できない]
急性毒性(吸入:粉塵・ミスト)	[分類できない]
皮膚腐食性／刺激性	[区分 1]
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	[区分 1]
呼吸器感作性	[分類できない]
皮膚感作性	[分類できない]
生殖細胞変異原性	[分類できない]
発がん性	[分類できない]
生殖毒性	[分類できない]
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	[分類できない]
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	[分類できない]
吸引性呼吸器有害性	[分類できない]

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性	[区分 1]
水生環境慢性有害性	[分類できない]
オゾン層への有害性	[分類できない]

GHS ラベル要素
総表示又シンボル

:



注意喚起語

:

危険

危険有害性情報

:

飲み込むと有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

:

【安全対策】

粉塵／煙／ガス／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は接触部位をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に封着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ただちに医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。(このラベルの全文を見よ。)

口をすすぐこと。

汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県の許可を受けた産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

【3.組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別

:

混合物

成分及び使用目的

:

成 分	濃 度（％）	化審法	安衛法	CAS-No.
アミン系化合物	-	-	-	-
増粘剤	-	-	-	-
抗菌剤	-	-	-	-
抗黴剤	-	-	-	-
ノニオン界面活性剤	-	-	-	-
安定剤	-	-	-	-
水	30-90	非該当	非該当	7732-18-5

【4.応急措置】

- 吸入した場合** : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。
異常のある場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合** : 液に触れた部分を、多量の水で流しながら洗浄する。
石鹼を使って、よく落とす。異常のある場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合** : 水で、最低 15 分間眼を洗浄する。コンタクトレンズは外す。直ちに、眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 水でよく口の中を洗浄した後、コップ数杯の清水を飲ませる。
無理に吐かせてはならない。異常のある場合は、直ちに医師の診断を受ける。

【5.火災時の措置】

- 消火法** : 水、炭酸ガス、粉末、泡消火剤、砂等
- 使ってはならない消火法** : 情報無し
- 特有の危険有害性** : 本品は引火の可能性は低いですが、引火した場合又は周辺火災が発生した場合、熱分解により有毒な窒素酸化物を生成する可能性がある。
- 特有の消火方法** : 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。消火活動は可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護** : : 消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

【6.漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置** : 直ちに漏洩区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。処理に当たる際は、適切な保護具を着用する。十分に換気しながら作業を行う。
- 環境に対する注意事項** : 環境中に放出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材** : 少量の場合には、おがくずや繊維等に吸収させ、密閉式の空容器に回収する。残りは、速やかに大量の水で洗い流す。大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収できなかった部分は、大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策 : 漏出物の回収漏れがないようにする。

【7.取扱い及び保管上の注意】

技術的対策 : 人体を保護するため、適切な保護具を着用すること。長時間または反復のばく露を避ける。作業は換気の良い場所で行うこと。

安全取扱注意事項 : 目的以外には使用しないこと。用法・用量を守って使用する。他製品と併用しないこと。
みだりに火気、その他熱源となる恐れのあるものに接近させないこと。

接触回避 : 「10.安定性及び反応性」を参照。

安全な保管条件 : 保管は直射日光をさけ、換気の良い冷暗所で保管する。また、危険な場所から遠ざけて、通風を良くし、温度・湿度・遮光に注意する。

安全な容器包装 : 遮光性の高いプラスチック容器(耐アルカリ性のものが好ましい)

【8.ばく露防止及び保護措置】

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

設備対策 : 換気設備を設置する。手洗い所、洗顔設備、安全シャワー等を設置する。

保護具 : 呼吸器の保護具：通常は保護マスク。必要に応じて適切な呼吸器保護具を着用するのが望ましい。
眼の保護具：保護眼鏡等。耐薬品性のものが望ましい。
手の保護具：不浸透性保護手袋等。耐薬品性のものが望ましい。
皮膚及び身体の保護具：不浸透作業衣、保護長靴等。耐薬品性のものが望ましい。

【9.物性及び化学的性質】

形状 : 液体(糸曳性の粘性液体)

色 : 無色透明～淡黄色懸濁

臭い : 特異臭

pH : 9.0 ± 1.0

比重 : 1.065 ± 0.02

引火点 : データ無し。

発火点 : データ無し。

燃焼又は爆発範囲 : データ無し。

蒸発速度 : データ無し。

蒸気圧 : データ無し。

蒸気密度 : データ無し。

溶解性 : 水に可溶。

沸点、初留点及び沸点範囲 : データ無し。

融点 : データ無し。

粘度	: データ無し。
n-オクタノール／水分配係	: データ無し。

【10.安定性及び反応性】

化学的安定性	: 情報無し。
反応性	: 通常の取扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。加熱燃焼すると分解して、有害ガス等が発生するおそれがある。
危険有害反応可能性	: 強酸化剤、強酸と接触すると激しく反応する可能性がある。
避けるべき条件	: 直射日光。熱源、強酸強酸化剤などとの接触。
混触危険物質	: 強酸、強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物等

【11.有害性情報】

急性毒性	
経口	: データ無し。GHS 分類判定より区分 4 とした。
経皮	: データ無し。
吸入(蒸気)	: データ無し。
吸入(粉塵・ミスト)	: データ無し。
皮膚腐食性・刺激性	: データ無し。GHS 分類判定より区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: データ無し。GHS 分類判定より区分 1 とした。
呼吸器感作性	: データ無し。
皮膚感作性	: データ無し。
生殖細胞変異原性	: データ無し。
発がん性	: データ無し。
生殖毒性	: データ無し。
生殖毒性・授乳影響	: データ無し。
特定標的臓器毒性・単回ばく露	: データ無し。
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	: データ無し。
吸引性呼吸器有害性	: データ無し。

【12.環境影響情報】

水生環境急性有害性	: データ無し。GHS 分類判定より区分 1 とした。
水生環境慢性有害性	: データ無し。
生態毒性	: データ無し。
残留性・分解性	: データ無し。
生態蓄積性	: データ無し。

土壌中の移動性	: データ無し。
オゾン層への影響	: データ無し。

【13.廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 焼却する場合には関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合には都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、廃棄物処理法及び関連法規。法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装容器	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

【14.輸送上の注意】

国際法規制	: 航空輸送は IATA、海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
国内法規制	: 【陸上輸送】 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 【海上輸送】 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 【航空輸送】 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策	: 輸送に際しては直射日光を避けて輸送する。輸送時に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う。
緊急時応急対応指針番号	: 非該当

【15.適用法令】

労働衛生安全法	: 非該当
消防法	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当
PRTR 法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当

【16.その他】

引用文献	: 化学物質等又は原料製品安全データシート(MSDS)
	: 厚生労働省 職場の安全サイト(http://anzeninfo.mhlw.go.jp/)
	: 環境省 化学物質情報検索支援システム Chemi coco

(<http://www.chemicoco.go.jp/>)

- : GHS 国連文書 仮約改訂 5 版 (平成 25 年 7 月)
 - : 緊急時応急措置指針[改訂第 4 版] 日本規格協会
 - : 国際化学物質安全カード (<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>)
-

【お願い】

本 MSDS に記載された内容につきましては、現時点で入手出来る各成分についての資料や情報を基に作成しておりますが、必ずしも安全性を十分に保障するものではありません。

また、全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

本 MSDS は原液の危険性について記載されたものであり、実際にご使用して頂く際には、製品ラベルに記載の通りに希釈する場合もあり、危険性及び有害性が緩和される場合もあると考えております。

また、安全性を期するため、本製品の最終取扱者に、本 MSDS の情報が確実に周知・伝達されますよう、各段のご配慮をお願い申し上げます。